

# 「杵築高校版 防災マップ」の作成手順

## 防災マップとは

- 「ハザードマップ」とは、災害の被害予測図で、災害の種類別（洪水・地震等）に存在します。
- 「防災マップ」は、避難経路と避難場所を示した地図で、災害の種別を問いません。
- 本学習では、過去に発生した災害の情報や避難所までの経路、避難経路上の危険箇所、必要な防災対応などを地図に書き込んだ「杵築高校版 防災マップ」を作成します。

## 杵築高校版 防災マップ作成の前提条件

- これまでの学習を踏まえ、歴史的・地理的・数学的視点を取り入れ作成すること。
- 避難場所は「杵築高校」、対象地区は「守末」「中平」「馬場尾」「中ノ原」とする。
- 完成させる「防災マップ」のサイズは、最低、模造紙1枚とする。
- 「防災マップ」完成の後、各班ごとにマップの提示を兼ねてプレゼンテーションを行う。

## 作成手順

手順	内容	時期・場所
1 事前準備	①役割分担 ②スケジュール作成 ③テーマの決定（どんなマップを作成するのか）	時：10/15～10/17 （2回） 場：教室
2 マップ案の作成	①マップの基図（A3判用紙）の準備 ②防災資料の収集（書籍・タブレットの活用） ・過去の災害状況 ・地域の地盤高の分かる資料 ③必要情報を基図へ書き込む ・避難経路 ・防災情報	時：①10/18～10/21 （3回） ②10/28～10/29 （2回） 場：教室、図書館
3 実地調査	①事前準備 ・実地調査用グッズの準備（地図・筆記具等） ・実地調査ルート決定 ②実地調査の実施 ・避難経路の危険箇所 ・防災対応に必要な箇所	時：10/24～10/25 10/31～11/1 （6回） 場：現地
4 マップの完成	①マップ（模造紙1枚）の準備 ②実地調査結果から得た防災情報の記入 ③マップタイトルの決定	時：11/5～11/15 （8回） 場：教室
5 振り返り	「杵築高校版 防災マップ」の作成を終えての感想・意見・自身の取り組みについて振り返り	時：11/15 場：教室

# 「杵築高校版 防災マップ」の作成準備①（事前準備）

( ) 班

## 1 役割分担

係	名前	仕事内容
リーダー		話し合いの進行、具体的な指示
計画責任者		スケジュールの作成、調整、修正
記録責任者（事前）		事前調査時の避難経路や防災情報などの収集、記録
記録責任者（実地）		実地調査時の避難経路や危険箇所などの収集、記録
点検責任者		マップ作成に関して、ミスや見落としがないか確認

## 2 スケジュール作成（別紙）

月	日	曜	内容	場所	月	日	曜	内容	場所
10	15	火	スケジュール・テーマ決定	図書館	11	1	金	実地調査	
	17	木		教室		1	金	実地調査	
	18	金		図書館		5	火	ハザードマップ作成について	教室
	18	金		図書館		7	木		
	21	月		図書館		8	金		
	24	木	実地調査			8	金		
	25	金	実地調査			11	月		
	25	金	実地調査			12	火		
	28	月		図書館		14	木		
	29	火		図書館		15	金		
31	木	実地調査		15	金	完成・振返			

## 3 テーマの決定

テーマ
-----

設定理由
------

# 「杵築高校版 防災マップ」の作成準備②（マップ案の作成）

（ ）班

## 1 マップの基図の準備

- A 3判用紙
- 地図帳（タブレットで代用）
- 筆記具
- 付箋
- その他（ ）

## 2 防災資料の収集（図書館で書籍調査、タブレットの活用）

内容	出典
(例) 『天災から日本史を読みなおす』 ～過去の災害データ	著：磯田道史（中央公論社）
(例) 杵築市防災マップ ～杵高周辺崖崩れ危険箇所	<a href="https://gis.chklab.com/HazardKitsuki/?activeMap=1">https://gis.chklab.com/HazardKitsuki/?activeMap=1</a>

## 3 必要情報を基図へ書き込む

防災に関する情報を収集したら、避難経路や防災情報などをマップに書き込もう。  
\* この時、付箋を利用すると作業がしやすくなる。

# 「杵築高校版 防災マップ」の作成準備③（実地調査）

( ) 班

## 1 事前準備

- マップの基図、タブレット
- 筆記具・メモ帳
- ルートの決定

## 2 実地調査の実施（タブレットのカメラ機能で記録）

チェックすべき安全なもの	チェックすべき危険なもの
<input type="checkbox"/> 消火器、水道消火器、送水口 <input type="checkbox"/> 災害一時集合場所や避難場所の標識 <input type="checkbox"/> 避難誘導案内板、災害避難場所案内図 <input type="checkbox"/> 公衆電話 <input type="checkbox"/> A E D	<input type="checkbox"/> ブロック、古いコンクリート板塀 <input type="checkbox"/> 石碑、記念碑、門柱、看板 <input type="checkbox"/> 山や高所から水が流れ込んでくる場所 <input type="checkbox"/> 木造密集地域 <input type="checkbox"/> 街灯がなく、夜間は真っ暗な場所 <input type="checkbox"/> 周りの土地より低く、浸水しやすい場所 <input type="checkbox"/> 水路と道路の境が分からない場所
気付いたこと	気付いたこと

# 「杵築高校版 防災マップ」の作成準備④（実地調査）

（ ） 班

## 1 マップの準備

- 模造紙（最低 1 枚）
- 地図帳（タブレットで代用）
- 筆記具
- その他（

## 2 実地調査結果から得た防災情報の記入

- 各班個性あふれる防災マップを作成！
- 写真や付箋を貼りつけたり、絵を描いたりして、高齢者や子どもにも分かり易く提示できるように工夫を凝らしましょう。

## 3 マップタイトルの決定

タイトル

設定理由

MEMO

# 「杵築高校版 防災マップ」の作成準備⑤（振り返り）

（ ） 班

## 1 アンケートに協力してください。

\* 1 よくできた ・ 2 できた ・ 3 ややできなかった ・ 4 できなかった を選択

番号	評価対象	質問内容	回答
Q 1	関心・意欲・態度 (地歴科・数学科)	「杵築高校版 防災マップ」の作成に、意欲的に追及することができた。	
Q 2	思考・判断・表現 (地歴科・数学科)	「杵築高校版 防災マップ」の作成において、調査したことを相互に関連付け、その内容を適切に表現できた。	
Q 3	資料活用の技能 (地歴科)	「杵築高校版 防災マップ」を作成する上で、必要な資料を収集して読み取り、読み取った内容をまとめることができた。	
Q 4	知識・理解 (地歴科・数学科)	「杵築高校版 防災マップ」の作成について、基本的な事実を相互に関連付けて理解し、その知識や技術を身につけることができた。	
Q 5	主体的で深い学び (地歴科・数学科)	グループ討議において、積極的に意見を出し、また他者の意見を聞いて考察し、内容をまとめることができた。	

## 2 振り返り（リフレクション）

(1) 「防災マップ」作成の感想を述べてください。

(2) 「防災マップ」作成の過程で理解したことを述べてください。

(3) 「防災マップ」作成の過程で生じた疑問点や気になったことを述べてください。

（ ） 年 （ ） 組 （ ） 番 氏名 （ ）